



中央図書館だより

Hon do?

NO.92
(令和3年12月15日発行)

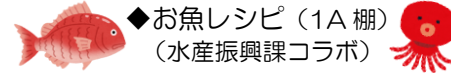
特集コーナー紹介



◆クリスマスの絵本 (1A 棚)



◆お魚レシピ (1A 棚)
(水産振興課コラボ)



【新規特集】

児童特集コーナー (1A 棚)

- ◆お正月の絵本
いろはにホットスペース (7 棚)
- ◆冬に気になること!
一般特集コーナー
- ◆年末年始お役立ち BOOK (特設 1)
- ◆お鍋! スープ! あったか料理 (特設 2)
- ◆食生活 (健康増進課コラボ) (特設 2)
- ◆障害者週間 (福祉課コラボ) (特設 3)

■新着本紹介■

新刊の一部をご紹介します

一般書



『らんたん』
柚木麻子
(小学館)



『幻の旗の下に』
堂場瞬一
(集英社)



『もっと! 「育ちがいい人」
だけが知っていること』
諏内えみ
(ダイヤモンド社)

『夜が明ける』西加奈子 (新潮社)
『邯鄲の島遥かなり』上・中・下 貫井徳郎 (新潮社)
『幕府パリで戦う』南条範夫 (集英社)
『仕事も人間関係もうまくいく放っておく力』
耕野俊明 (三笠書房)

『有明海の朝焼け 1万枚 from 天草』田尻薫
『写真アルバム 天草の昭和』河合真吾 (樹林舎)

児童書・絵本



『たいそうするよ』
高島純
(光村教育図書)



『レッツキャンプ』
いとうみく
(佼成出版社)



『おやすみなさい』
いもとようこ
(金の星社)

『やりたいことが見つからない君へ』坪田信貴 (小学館)
『「心」のお仕事』河出書房新社 (編) (河出書房新社)
『No.1 図鑑 昆虫』大谷智通 (文響社)
『ひよこはにげます』五味太郎 (福音館書店)
『音にさわる』広瀬浩二郎 (偕成社)
『コールテンくんのクリスマス』
ドン・フリーマン (好学社)

■中央図書館カレンダー■

※市内の新型コロナウイルスの感染状況によって、おはなし会などのイベントは中止になる場合があります

12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- は休館日
- ◇しあわせおはなし会 10:30~
- おはなし会 14:00~
- 古文書学習会 14:00~
- △みずのわ読書会 10:00~

問合せ先 天草市立中央図書館
TEL: (0969) 23-7001

【開館時間】 火~金曜9時~19時 土・日、祝日9時~17時

年末年始の休館日のお知らせ



天草市立図書館は12月29日(水)から翌年1月3日(月)まで休館します。
中央図書館は12月31日~1月3日まで、返却ポストを閉鎖します。
12月29~30日は返却ポスト(こころす1階正面入口横)が利用できます。
来年の開館は1月4日(火)からです。みなさま、よいお年をお迎えください。



おめでとうございます!

天草市の読み聞かせボランティア2グループが受賞!

◆第54回全国優良読書グループ受賞

「特定非営利活動法人 つわの花」(会員数15名)

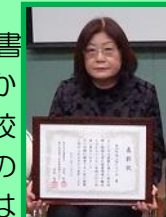
多年にわたり読書会を作り育て、読書運動の推進につくされた功績がたたえられました。「子どもたちの読書の心育て、人の優しさ、優しい心を声に乗せて届ける」ことをモットーに活動されています。今後は高齢者施設等への定期的な読み聞かせも考えられているそうです。



◆令和3年度(2021年度)熊本県優良読書グループ受賞

「新和町読み聞かせの会」(会員数10名)

12月6日(月)、県立図書館で熊本県の優良読書グループの表彰式がありました。新和町読み聞かせの会は、長きにわたり新和小学校と新和中学校で読み聞かせをしてこられ、地域子どもたちの読書環境の醸成に貢献されています。授賞式では「今後も地域の子どものために頑張っていきたい」との抱負を述べられました。



学校図書館紹介

中央図書館では市内の学校図書館での取り組みを展示・紹介しています。次回は1月上旬から1か月ほど展示する予定です。



パネルシアター講座

(11月20日(土)天草市民センター大会議室)
講師の渡辺繁治さんからパネルシアターの作り方や演じ方を学びました。渡辺さんの美しい声や歌で繰り広げられるパネルシアターの世界に、参加者は終始うっとりとした楽しい時間を過ごしました。市立図書館では、パネルシアターの貸し出しも行っていきますのでぜひご利用ください。



読書バリアフリー研修

(12月8日(水)こころす会議室BC)
公益財団法人伊藤忠記念財団主催の特別研修「読書のバリアフリーをすすめるために」のオンライン視聴と市立図書館所蔵の読書補助用具やバリアフリー資料、マルチメディアデジー図書の操作方法など紹介しました。参加者は熱心に受講され「多くの読書困難の方たちが読書へのアクセスがしやすくなるよう、情報を発信していきたい」などの声が寄せられました。



まちはみんなの遊園地 in 銀天街に移動図書館車がまわります!

【日時】12月19日(日)
10:00~16:00
【場所】銀天街アーケード内
(本渡中央商店街)



今年もあっという間に冬になり、いろんな秋を楽しむには時間が足りませんでしたね。それでもコロナの感染が落ち着いているので休日の図書館は楽しそうな家族での来館が徐々に増えてきました。先月訪れた人吉では、楽しみにしていた紅葉の時期は過ぎ、昨年の水害で被災し修復中の場所が市内のいたるところに残っており、集中豪雨時の恐怖が蘇りこの光景に心が痛みました。「ものを見るという行為は実際は脳の問題である」と『目の見えない白鳥さんとアートを見に行く』という本に書いてありました。私が感じた恐怖感も脳が影響したようです。前出の『目の見えない白鳥さん...』の本は、触れることが出来ない美術館の絵をどのようにして鑑賞するのが気になり手に取って見たのですが、なんと専門家ではない2人がそれぞれ解説をし、白鳥さんは解説を聞きながら絵を見ていくというのです。しかし同じ絵を見た2人の解説が全く違います。それは「過去の経験や記憶といったデータベースを巧みに利用しながら目の前の視覚情報を脳内で取捨選択し補正し理解している」からだそうですが、混乱するであろう当の白鳥さんは、聞いた情報を柔軟に頭の中で変換しながら、2人との会話や共有する時間がとても楽しいと話します。白鳥さんと出会った伊藤亜紗さんは、回転寿司を選ぶときロシアンルーレットと言ってゲームのように楽しみ、また、中身のわからないトルトソースを開けるとき運試しと言って楽しむ全員の方々を「ユーモアで不自由な状況を読み替えている」そして「体のローカルルールが固有性を作り出す」とご自身の著書に書いていました。障害や癖を様々な固有性ととらえ、友達やご近所さんのように寄り添い楽しい時間を共有できればいいですね。12月3日から9日まで障害者週間です。図書館では関連の書籍を特設コーナーに設置しています。不便に思える多くのことを楽しさに変換する天才たちに本を通して出会えたことは、これから歳を重ね、不自由なことが増えていく私にとってはとてもラッキーでした。ぜひ多くの方に読んでいただきたいと思います。

今年もコロナに翻弄された1年でしたが、多くの方にご来館いただきありがとうございました。
来年は穏やかな年になりますように、楽しい時間が多くなりますように!

【文・中央図書館長】